

公表

事業所における自己評価総括表

放課後等デイサービス

○事業所名	ASKA club 壬生		
○保護者評価実施期間	2026年1月14日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年1月14日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「環境・体制整備」 安心・安全な環境づくりを大切にしながら、その日の利用状況やお子さまの様子に合わせて空間を工夫していることが当事業所の強みです。これからも利用人数や活動内容に応じて、より使いやすい環境づくりを進めていきます。	毎日の清掃・消毒を徹底し、清潔な環境を保っています。個別活動の際にはついたてを使い、集中できるスペースを作っています。また、職員同士で話し合いや振り返りを行い、必要に応じて環境の見直しを行っています。	レイアウトや動きやすい動線を工夫し、より安全で活動しやすい空間づくりを進めます。あわせて情報共有を強化し、環境面と支援の質の向上を目指します。
2	「業務改善」 職員同士で目標を立て、振り返りを行いながら日々の業務を見直していることが強みです。今後はこの取組をより分かりやすく整理し、さらに質を高めていきます。	日々のミーティングで情報共有を行い、課題があれば話し合って改善しています。法人内研修にも参加し、職員のスキル向上に努めています。必要に応じて第三者評価も検討していきます。	改善内容を記録し、振り返りがしやすい仕組みを整えます。外部の意見も参考にしながら、より良い体制づくりを目指します。
3	「非常時等の対応」 災害や事故、虐待防止などに備えた研修や体制づくりを続けていることが強みです。今後も実際の場面を想定した訓練を重ね、対応力を高めていきます。	具体的な状況を想定した訓練を行っています。また、法人内の虐待防止委員会で事例の共有や話し合いを行い、意識向上に努めています。	定期的な訓練と見直しを続け、職員全体で情報を共有します。どのような状況でも安全を最優先に対応できる体制を整えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「適切な支援の提供」 発達段階に応じた支援を行っていますが、職員それぞれの役割や支援内容をさらに分かりやすくし、より一貫した支援体制を作ることが課題です。	運動や制作、ゲームなど楽しめる活動を工夫し、必要に応じて個別対応も行っています。その中で、支援の重点や情報共有の方法を整理することが今後の課題となっています。	支援計画に基づき、役割分担をより明確にします。情報共有を強化し、お子さまが自分で選び、意欲的に取り組める活動を大切にしながら支援の質を高めていきます。
2	「関係機関や保護者との連携」 学校や保護者の皆さまとの情報共有は行っていますが、より計画的で継続的な連携を強化していくことが課題です。	送迎時に学校での様子を確認し、下校時間表を共有しています。また、「HUG」や口頭で活動の様子をお伝えしていますが、日々のやり取りが中心となっています。	面談や情報交換の機会を増やし、より深い連携を目指します。児童館などの地域資源の活用も検討し、お子さまの活動の幅を広げていきます。
3	「保護者への説明等」 日々の様子はお伝えしていますが、支援方針や全体的な取組について、より分かりやすくお伝えする機会を増やすことが課題です。	「HUG」やSNSで活動の様子を発信し、保護者の悩みも伺っていますが、事業所全体の取組をまとめて説明する機会が多くないことが課題です。	面談や説明の機会を計画的に設け、より分かりやすい情報発信に努めます。必要に応じて保護者会の開催も検討していきます。